

令和6年度 第2回 南大塚保育園 運営協議会議事録

日時：令和7年3月21日（金）17：30～18：30

場所：南大塚保育園 4歳児室

出席者：保護者代表 篠崎 真由子 皿田 祥子
事務局 吉山 文子（事業団 保育園課長）
保育園職員 近藤 絵美子 園長
門田 洋行 副園長
穴戸 秀子 主任

欠席者：学歴経験者 原田 晃樹 氏（立教大学 コミュニティ福祉学部教授）

司会：吉山 文子

- ※配布資料 ・第2回 運営協議会 次第
- ・令和6年度 1年間のまとめ
 - ・南大塚保育園 すくわくプログラム活動「音」
活動報告 ① いろんな「音」をきいてみよう
② いろんな楽器の「音」をきいてみよう

【 協議事項 】

1 自己紹介

2 令和6年度事業報告（令和6年度 1年間のまとめ 参照）

- ・6/13（木）保健集会（プライベートゾーンの話）

水遊びが始まる頃にシャワーを浴びたり着替えをし、服を脱ぐ機会が多くなる。3歳児以上の子どもを対象に看護師より水着で隠れる部分は、大切な所なので友達に見せたり触らせたりしないことや、着替え方について絵本を通して伝えた。

- ・7月・12月 竹早保育研究活動（クレイアニメーション製作）

竹早教員保育士養成所の教員が、本園の5歳児を対象に、「ICTを保育に取り入れる」ことをテーマにした、クレイアニメーション作りの活動を実施した。紙粘土に着色をして、子ども達の好きなキャラクターを作り、そのキャラクター動かしてコマ撮りをしてアニメーションを作った。

12月は子ども達が作ったアニメーションに音を付ける活動や「町を作る」というテーマでの活動も行った。前回は、個人製作だったが、今回は、グループ制作を行った。はじめは、それぞれの思いで作っていたが、次第に友達と協働しながら作り上げていく姿が見られた。

・「とうきょうすくわくプログラム」

子ども達の豊かな心の育ちを育てることを目的とした東京都のプログラムを利用して、今年度は「音」をテーマにいろいろな活動を行った。

幼児クラス・乳児クラス、それぞれ音探しや音当てなどをし、様々な楽器や音を楽しんだ。

・3/17（月）には

ドラムファシリテーターを招き園庭でドラムサークルのイベントを行った。沢山の民族楽器や打楽器を皆が自由に触れ、音を楽しむことができた。幼児クラスごとに行ったが、園庭で遊んでいる子どもも、自由に出入りでき、一緒に音を楽しむことができた。0歳児の子もミルク缶のドラムをずっと叩いて楽しんでいた姿もあった。

3 令和7年度事業計画

①とうきょうすくわくプログラムの継続

6年間、継続される予定。来年度も継続して取り組んでいく。

音の活動にこだわらず、来年度は、職員と検討して、子どもたちの興味のある活動にしていきたい。

②造形・表現活動の実施

幼児クラスを対象とした造形活動を5月より2ヶ月に1回程度、実施予定。今年度クレイアニメーション作りの指導をしていただいた講師に依頼をしている。

子ども達が様々な素材に触れ、経験を通して、自由な表現活動が広がることをねらいとして計画をしている。

講師:東京学芸大こども未来研究所 新名 佐和子先生

③2階保育室床改修工事

本年度、1階の保育室の床の張り替え工事を行った。来年度は2階の保育室の改修予定。工事期間は、ホールに保育室を移し引っ越しする予定。ホールを仕切って1・2才児が過ごし、0歳児は改修が終わった部屋で過ごしていくよう計画している。

4 保護者様より

①ご意見

・今年からコドモンで季節のイベントの様子を写真で載せて頂いている。工夫して行事を盛り上げて下さっていることが分かる。ありがとうございますと伝えたくて参加した。

・保育園で工夫してイベントを開催してくださっているので毎日、保育園を楽しんでいる。有り難いなと感じている。

②保護者からの質問

すくわくプログラムの6年間の活動で南大塚保育園は音をテーマにしている。他の園ではどのようなことをしているのか？

園長より

園によって様々な取り組みをしている。今年度は音をテーマにしているが来年度は、変えてもよいことになっている。音以外に光と影など、他の園では、影絵・知育教材・英語の先生に依頼、海外の連携園とzoomで交流。姉妹園では、顕微鏡で園庭にある自然物の観察、水の生き物と植物の観察研究。普段の保育で行っていることだが、主体的な活動を通して子どもの気づき・発見をクローズアップすることで、子どもたちの育ちを支援していきたい。

・副園長より

各クラスが手作り楽器を1人ひとつずつ作る取り組みをしてきた。

乳児クラスの職員は、園児の発達を踏まえ0歳児は口に入れても危険ではない素材を考えたり、1歳児はどのような動きが楽しいのか？ 持った時にどんな動きが楽しいのか？と子ども達の遊ぶ様子を考え作製した。

3・4・5歳児は自分達で何が作りたいか？を考え、子どもたちが主体的に取り組めるように進めた。音の集会の際に容器に様々な素材を入れて振ると、どんな音がするのか？生活の中での身近な音に耳を澄ませたり、ここを叩けば、こんな音がするのか？と子ども達の気づきを大切にしたい集会を行った。

いろいろな素材を使った楽器作りをした時に、スパナで楽器を作った子どもは、「先生見て！持っていると鳴らない」「置くと鳴るんだよ！」と物の材質を発見し、それを嬉しそうに伝える姿が見られた。

・園長より

保育士も子どもと一緒に楽しんで、わくわくしていた。すくすく育つ、わくわく興味をもつのがすくわくプログラム。楽しいのが一番だと思う。職員も楽しめた活動であったため、来年も継続したいという意見が出ている。

5 学歴経験者様より 本日欠席

6 事務局より

本日、保護者の方から嬉しい言葉を沢山いただき、感謝している。

次回の会議にも、是非参加して頂き、園のことを皆さんと共有していきたい。

以上

記録 南大塚保育園 主任 宍戸 秀子